

■パキスタン：原子力委員会議長、原子炉 32 基の導入を表明

パキスタン原子力委員会 Parvez 議長は 2014 年 2 月 26 日、原子力発電所を建設する 8 サイトについて現在選定作業を進めていると語った。それによると、将来的に必要な発電設備容量の 4 分の 1 を原子力にするため、各サイトに原子炉（110 万 kW）4 基ずつ計 32 基、発電設備容量を 4,000 万 kW にするとしている。2013 年内に着工したカラチ原子力発電所 2、3 号機については、中国は建設工事と運転期間中の燃料供給を保証するとともに、総費用の 82%にあたる 65 億ドルも融資するという契約をパキスタンと締結している。この契約は、原子力貿易を規制する原子力供給国グループ（NSG）の異議にもかかわらず進められていることから、NSG は中国を召喚している。しかし、中国は、パキスタンとの原子力貿易はグループ憲章ができる前に始めているとし、これを拒否している。